

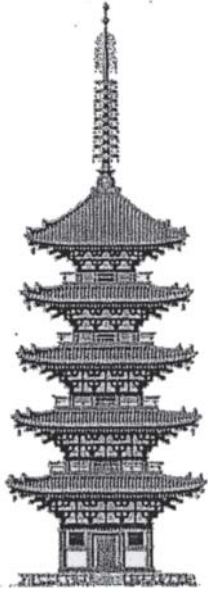
弘法さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

Kouhei@oh-kouhei.org



皆さん、こんにちは。最澄・空海に至る飛鳥・奈良時代の仏教がテーマの今年のかかわら版。今月は
大仏建立の勸進聖(かんじんびり)として知られる行基についてです。

★道昭(どうしょう)

奈良時代の山岳修行者の二大巨頭である**役行者**と**行基**。役行者は伊豆配流の身となった一方、行基は日本初の**大僧正**となります。

六六八年、行基は河内国大鳥郡(後の和泉国、現在の大阪府堺市)で誕生。父も母も**百済系渡来人**の家系です。

六八二年、飛鳥の**大官大寺(だいかんだいじ)**で得度して出家。
六九一年、葛木(城)山(金剛山)の**高宮寺**(現在の奈良県御所市)で**徳光禪師**を戒師として受戒。葛木山や高宮寺周辺は役行者の活動拠点。行基と役行者の接点が感じられる地縁です。



行基 (堺市博物館蔵)

当時、唐で**三蔵法師****玄奘**に師事した**道昭**が帰国して**飛鳥寺**に在住。**六九二年**、行基は道昭に師事しました。

道昭は京都の宇治橋を建設。行基が数多くの土木工事を手がげたことは、道昭の弟子となったことと関係があるようです。

★家原寺(えはらじ)

受戒後の行基は生駒山地で山岳修行に入り、やがて山を下りて布教活動を始めました。

七〇四年、生家に**家原寺**を興した後、機内全域で寺の創建に腐心。最終的には**四十九院(しじゅうくいん)**と呼ばれる多数の寺を建立



家原寺 (合格祈願の文殊さんでも有名)

しました。行基の下に集まった僧尼や民衆は**布施屋(ふせや)**という道場に住み、壱田を行い、橋・道・港・溜池などを建設。菩薩行(利他)

行) 衆生救済の実践を重ねました。言わば社会事業です。

七一〇年、**平城京遷都**。中央集権の律令国家を目指した朝廷は、僧尼令によって布教活動を監視します。布教活動が民衆の扇動につながることを恐れたからです。

七一七年、**元正天皇**の詔(みことり)で行基は僧尼令違反として名指しで批判されます。曰く「僧尼は寺で仏道を教えるもの。小僧行基とその弟子たちは、街でみだりに罪福を説く」。

僧尼令の違反者は還俗(げんぞく)が義務。しかし、行基の社会活動には朝廷も一目置かざるを得ず、結局行基は還俗しませんでした。

★聖武天皇行幸

七三〇年、朝廷は行基に師事する修行者に得度を許します。

七三六年、入唐僧や遣唐使の要

請で来日したインド僧の**菩提僊那(ぼだいせんな=ボーティセンナ)**、チャンパ(ベトナム)僧の**仏哲ら**を行基が平城京に迎え入れ、大安寺を提供。

菩提僊那は、後に東大寺大仏開眼供養の導師を務めます。

七三八年、行基は朝廷より**大徳**の称号を与えられます。

七四一年、**聖武天皇**が京都山背(やましろ)の**泉橋院**という行基の布施屋に行幸。為奈野(いな)の現在の兵庫伊丹市周辺)の地を与え、身寄りのない人々のため**給孤独園(きつこどくおん)**という施設の建設を許可。

天皇行幸で行基の地位は揺るぎないものになったと言えます。

行基年譜(一一七五年編纂)によれば、行基の社会事業は「架橋六所、直道一所、池十五所、溝五所、樋三所、船息二所、堀四所、布施屋九所」に及んだと記されています。

★勸進聖

七四三年、聖武天皇は大仏建立を發願。行基は**勸進聖(かんじんびり)**を命じられ、多くの弟子を率いて活躍します。

七四五年、七十八歳の行基はついに初の大僧正に任じられます。

来月は**大仏建立勸進聖**としての**行基の晩年**をお伝えします。乞ご期待。

